

CONTENTS

DEEP PURPLE MACHINE HEAD

HIGHWAY STAR	ハイウェイ・スター	3
MAYBE I'M A LEO	メイビー・アイム・ア・レオ	22
PICTURES OF HOME	ピクチャーズ・オブ・ホーム	32
NEVER BEFORE	ネヴァー・ビフォア	49
SMOKE ON THE WATER	スモーク・オン・ザ・ウォーター	60
LAZY	レイジー	71
SPACE TRUCKIN'	スペース・トラックイン	100

HIGHWAY STAR

ハイウェイ・スター

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

発表当時から数々のロック・ギター教則本に取り上げられ、今なお上達のための必須曲としてギター・キッズなら避けて通ることのできない、言わずと知れた名曲「ハイウェイ・スター」。全体的な注意点は、何といてもスピード感だろう。高速道路を突っ走る様子を体で感じて、速い8ビートが失速しないようメンバー全員が心掛けるように。E.ギターのポイントは、ミュート気味のダウン・ピッキング。④、⑤など、パッキング・パターンはほとんど右手でブリッジ・ミュートをし、8分音符は全てダウン・ピッキングでプレイする。④で時折出てくる16分音符はアップ・ピッキングだ。⑤からのギター・ソロではチョーク・アップ&ダウンのタイミングに気を付けたい。ゆっくり上げるのが速く下げる

のか、といったタイミングによってフレーズのノリが変わってくるからだ。レコードをよく聴き、ニュアンスをつかんでもらいたい。また④の速弾きでは右手と左手が合うよう、まず最初は $\frac{1}{16}$ くらいの遅いテンポで練習し、それが確実にこなせるようになってから徐々に速めていくように。このようなピッキングでは手首を固めて、ヒジから下全体の上下動でやってみると案外やりやすいこともある。オルガン・ソロの④の部分では、ハモリのパートがオーバー・ダビングされている。ライブではどちらかひとつを弾けばよい。ドラムとベースは、特に④のシンコペーションに注意したい。シンコペーション直後の2・4拍のタイミングがズレないように、しっかりとリズムをキープしてプレイしよう。

Intro

Vocal

Other

Keyboard

Guitar

Bass

Drums